

ひゃくちゃん通信

第26号
令和元年9月

〒421-1221
東海フーズ株式会社
静岡市葵区牧ヶ谷2037
054-277-1667(代)

令和になって五ヶ月
余り、暦の上では立秋
に入りました。相変
わらず厳しい暑さの
真っ只中ですが皆様
お変わりなくお過ごし
してでしょうか。



社員猫のひゃくちゃんです。

秋と言ったら思いつづのが食欲の秋です
が、僕も厳しい残暑と年齢からくる体力の
衰えで食事もすすまないと思いきや毎日
冷房のきいた部屋で元気がいづばい過して
います。

皆様は連日の暑さ対策は大丈夫でしょう
か。熱中症には気を付けてお仕事を頑張っ
てください。

静岡県のお茶農家さんに関するお話を
少々したいと思えます。静岡県中部の山間
部は昔から本山茶の産地として有名でし
た。しかし十数年まえから若者のお茶はな
れが進んで、急須を使ってお茶を飲まな
くなり高級煎茶も以前ほど需要がなくなり
相場価格の低迷で山
間部では採算面で作
業性の良い産地に太
刀打ちできなくなり
茶園を手放し放棄地
になってしまいました
。又農業後継者の



減少や高齢化に伴い、ますます茶畑放棄
地は増加しています。本山の茶畑がもたら
す美しい景観が少しでも守られることを願
うばかりです。

時代の移り変わりで仕方ないとは思いま
すが、後継者不足は農業にも限らず当社が
お世話になっている専門店様でも例外では
ありません。

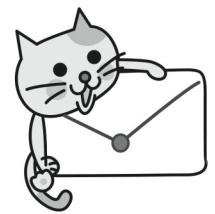
長野県のお客様からのお便りで、「私、家
内ともに高齢となり後継者もいないことか
ら今回若い社長を迎えることとなりまし
た。」といったお手紙を頂きました。早速お
電話で詳しいお話をお伺いしたところ、県
庁支援管理課に相談に行ったところ今回の
社長候補の方を探して紹介して頂いたよう
です。適任者だ
と思ひ直ぐに社
長をお願いした
との事でした。し
ばらく社長は相
談役として伝統
のお茶作りを担
当、奥様は店内の
接客の責任者と
してそれぞれ新
社長をサポート
されていくとの
ことでした。大変
いいお話だと思

いました。今回のお
話のように身内に後
継者がおられなくて
も、こういった引継ぎ
ができる事が分かり
何だか少しホッと
した気持ちになりま
した。



さて、今回は弊社の営業社員のN君の話
です。

(忘れられ
ない出来事)
今から二十
数年前の話になります。創業間もない頃は
お客様の件数も少なく毎日が新規開拓。会
社のポリシーは専門店のお役に立てる商品
造り、お役に立てる会社を目指そうと社長
の号令で日々頑張っていました。しかし、気
合が入りすぎてなかなか話を聞いてもら
えない日々が続いた暑い夏の日でした。岐
阜県のお店に飛び込み営業した時の事
です。



汗だくで話
すN君にお店
のご主人が
「落ち着いて椅
子に掛けたら」
と言ってくだ
さいました。そ
れから商品説
明も一通り終え
てからご主人
が取り合えず売れなかつたら家族で食へて
もいいからと、いくらかのご注文をだして
くださいましたが、とてもこの数では販売
ボリュームが出せず売れないのが明白、少し



N君は考えて思わず出た言葉が「ご主人の
お気持ちは大変に有難いとおもいます。本
当にありがとうございます。しかし、この数
量では目立たないしお客様に魅力的に映ら
ないと思います。却ってお店の不良在庫に
なってしまいます。いくらご家族で食へてく
ださると言ってもご迷惑をかけてしまいま
す。私の説明不足でした。出直して又ご訪
問に伺わせてください。」と言って席を立つ
と、「ご主人が「分かったしっかり取りさせて
もらうよ」と言って頂いた。N君「え？」ご
主人の心理をよめず戸惑っているところ、ご主
人「本当は寸注
文だして君を帰
そうと思ったん
だ。でも本当に私
の店の事考えて
くれてる人みた
いだね。良いご縁
をありがとね。」
と言ってくださいました。以前から「商品
を売るな自分を売れ」と、いつも会社で教え
られていたことが初めて体験できたN君
でした。この出来事が会社で言うお客様
のお役に立てる事を本当に思う事だと思
いました。

この後この専門店様では10年間程取引
を続けて頂きましたがご主人が高齢のた
めお店を廃業されました。この出来事は今
でもN君の頭の中で思い出されそのたびに
ご主人には大変感
謝しているよう
です。又自分の仕事
の原点としている
忘れられない想
い
出
と
言
っ
て
い
ま
す。

